

NSG Group

ウォーター ポリシー

NSGグループのポリシーは、排水の水質パラメーターや温度のばらつきを最小限に抑えながら、貴重な水資源を最大限有効活用することを目的としています。

本ポリシーは、環境への影響を絶えず最小化すること、および国連の持続可能な開発目標（目標 3、6、11、12、13、14、15）への NSG グループのコミットメントを後押しするよう策定されています。地域社会の水資源に関する権利は、NSGグループが生産を維持するための諸要件よりも優先されると認識しています。

NSGグループ ウォーター・ポリシーは、以下の原則に従います。

- **安全性**：事業を行う地域社会で利用する水資源の品質を維持することを約束します。
- **利用可能性**：地域社会の水資源の利用可能性に与える影響を最小限に抑える方法で事業を行うよう努めます。
- **アクセシビリティ**：NSGグループの事業が、地域社会の水資源へのアクセシビリティ（アクセスのしやすさ、利用しやすさ）に悪影響を及ぼさないよう努めます。
- **責任**：NSGグループの事業における全ての段階からガラス原料のサプライチェーンに至るまで水への影響を考慮します。
- **リスク管理**：関連するサプライヤーの選定や新しい工場施設の建設場所を決める際には水リスクおよび持続可能な水資源へのアクセスについて確認します。水資源が乏しい地域については、水不足問題の影響に重点を置いて検討します。

- **イノベーションおよびベストプラクティス**：NSGグループの施設設計において、水資源の保全に関する要素を組み込みます。
- **目標**：NSGグループの継続的な改善へのコミットメントに従い、既存の工程および技術に変更を行う場合は、具体的な水に関する KPI（評価指標）を設定し、評価します。

さらに、NSGグループは、責任ある水管理について、ベストプラクティスを目指すための標準と活動に関して、ステークホルダー、政府、他の企業や組織と協働することを約束します。

また、上記に挙げた全ての領域について、従業員及び請負業者には、適切なトレーニングと必要な情報を提供することで自身が関与することの重要性を正しく理解できるよう支援し、サプライヤーに対しては、自社の貢献を理解できるように支援します。

NSGグループ CEO は本ポリシーの承認に責任を負います。サステナビリティ統括部長は本ポリシーの定期的な見直しと関連プロセスの策定に責任を負います。

各事業部門長およびグループファンクション部門長はポリシーの実施に責任を負います。

当社グループのサステナビリティ委員会は、グローバルにパフォーマンスをレビューし関連活動について討論するための場を提供します。

管理監督者は本ポリシーが要求する手順の遵守に責任を負います。



森 重樹
日本板硝子株式会社
代表執行役社長 兼 CEO
2020年7月

NSG
GROUP